

試験品のご準備等に関する注意

2019年7月3日改定

(試験全般に関連する事項)

1. 本ページ以降の内容に沿って、試験品をご準備ください。
正確かつ確実に試験をおこなうため、
不点灯・配線不備・装置への取り付け不可・ラベルの貼り忘れなどの場合は、
お客様へ着払いにて返送させて頂いた上、修正頂きます。
2. 不備があった場合、試験開始が大幅に遅れる可能性がございます。
3. 単色性の強い試験品は、測定設備により測定結果に比較的大きな誤差が生じる
可能性がございます。(例)赤色灯、半導体工場用黄色灯など
4. 試験品は、申込書発行後に、発送あるいはお持ち込みください。
お持ち込みの場合は、事前にご来所の日程をご連絡ください。
5. 調光や調色、配光制御、点灯姿勢、その他条件設定が可能な試験品に関しましては、
条件設定を事前に行っていただいたうえでお持ち込みください。
6. 電池で点灯する試験品に関しましては、測定の再現性が担保できないため、
試験をお受けできません。

【目次】 試験項目ごとに、試験品の準備方法が異なります。

※一個の試験品に対して複数の試験項目をご依頼の場合は、各項目の準備方法を満たすようにご準備ください。

1. すべての試験項目に共通する事項

→ p.3～4

[全光束、配光、分光放射束、光度、色彩、光フリッカ、照度]

2. 全光束、配光、分光放射束、光度、色彩、光フリッカ、照度測定に、共通する事項

→ p. 5

2-1. 全光束(ランプ・モジュール類)、分光全放射束、色彩(積分球内配置)測定の場合

→ p. 6～11

2-2. 全光束(照明器具)、配光、光度、照度測定の場合

→ p. 12～21

2-3. 色彩(直射光学系)、光フリッカ測定の場合

→ p. 22

[分光放射照度]

3. 分光放射照度測定の場合

→ p. 23

1. すべての試験品に共通

依開光番号及び試験品名記載のお願い



試験品の取り間違いを避ける為、
光出力や給電の妨げにならないように
依開光番号及び試験品名を
試験品に直接記載ください

31依開光第1234号

クール	冷蔵	冷凍
60	80	100
120	140	160

配送による送付の場合は、
品名欄にも、依開光番号を記載ください。
複数の試験品の場合は、
例えば31依開光100～103のように記載ください。

1. すべての試験品に共通

配送による試験品返却の場合
着払い伝票同封のお願い

品名(照明器具など)をご記入ください

両方同じ内容を
記入してください

宅急便着払い伝票

ヤマト便着払い伝票

ゆうパック着払い伝票

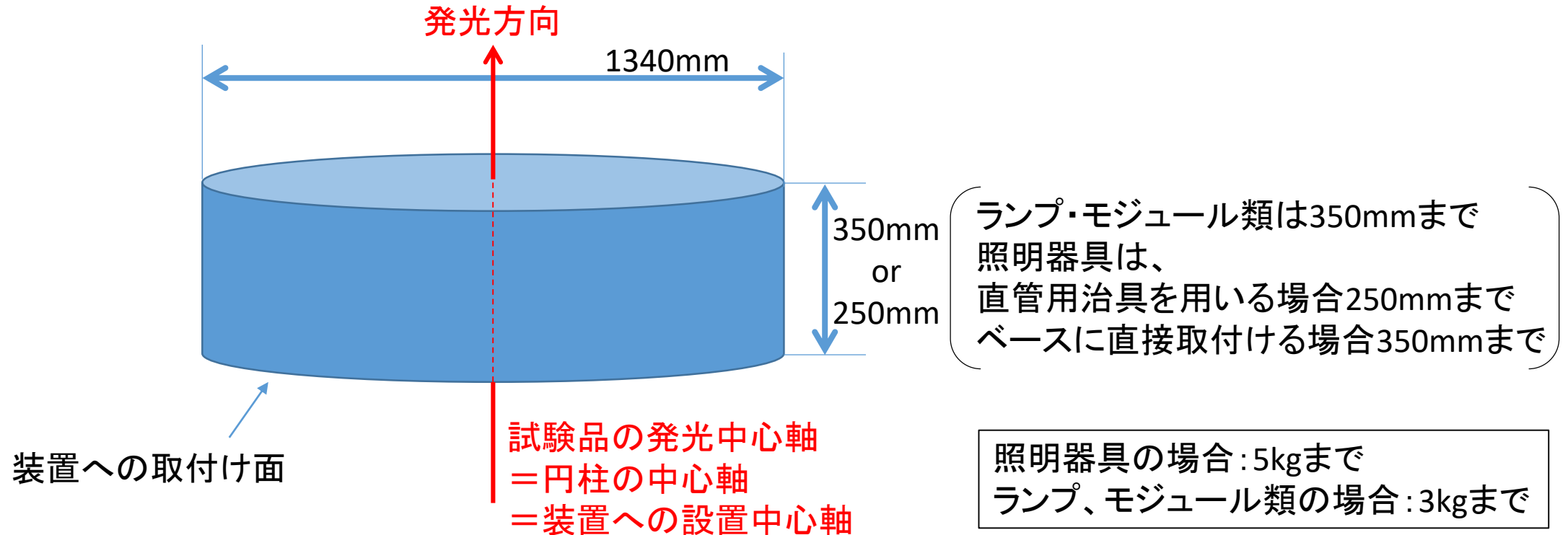
必ず「着払い」伝票
としてください

配送による返却をご希望のお客様は、お届け先とご依頼主の欄に、御社住所と御社ご担当者様を、あらかじめ記載したヤマト運輸(宅急便もしくはヤマト便)、または日本郵便ゆうパックの、「着払い」伝票を同梱ください。

必ず事前に梱包物のサイズをご確認ください。
ヤマト運輸「宅急便」は160サイズ(縦・横・高さの合計が160cm以内)
日本郵便「ゆうパック」は170サイズ(縦・横・高さの合計が170cm以内)が限度です。
これを超える場合は、ヤマト運輸「ヤマト便」の着払い伝票を同梱ください。

試験品のサイズ・質量

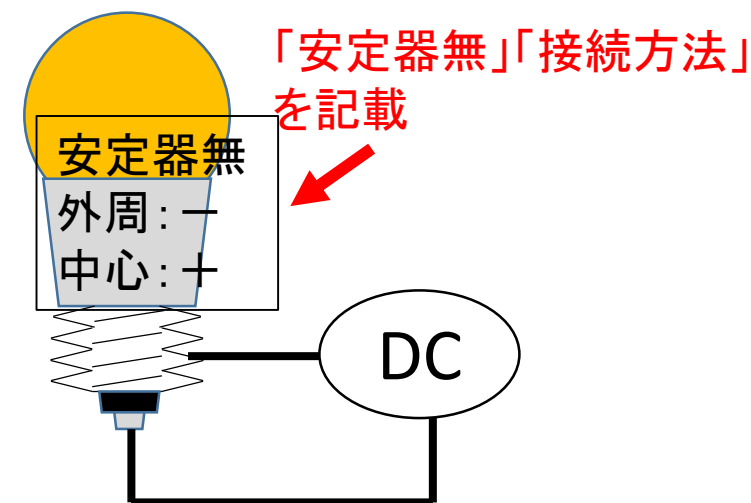
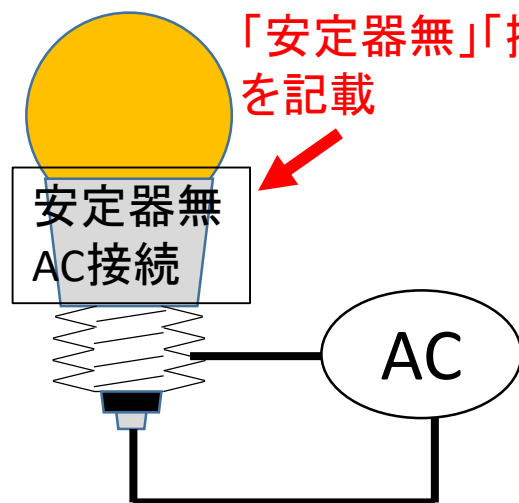
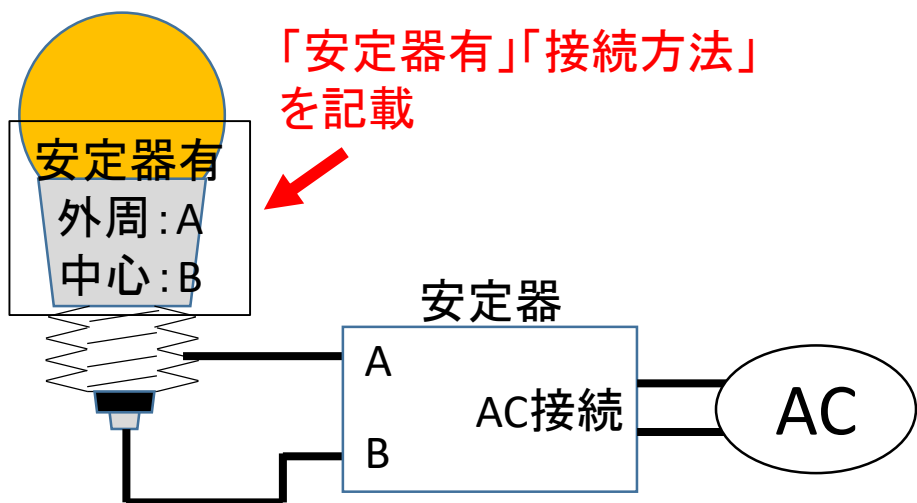
下記の青い円柱に収まるような形で試験品をご準備ください。
サイズ、質量の制限値は、治具、安定器など全てを含んだ状態での値です。
試験品の発光中心軸が装置への設置中心軸と一致するよう、治具等の作成願います。



E形口金を有する試験品

配線方法(安定器の有無、接続方法)の明示のお願い

→以下の例に従い、光出力や給電の妨げにならないよう、試験品本体、もしくは試験品ごとの個包装箱に、テプラ等で記載してください。



安定器別置の場合：
安定器の接続該当部にマーキングの上、「安定器有」、「外周(スクリュー)にA、中心がB」等と明示してください。AC接続側はAC100V15A用平行型プラグとしてください。

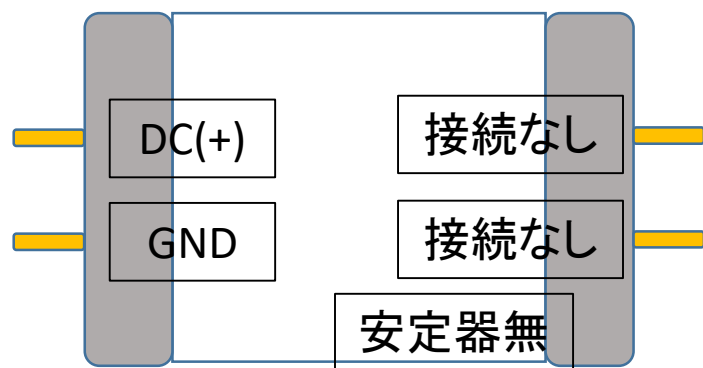
AC直接接続の場合：
「安定器無、AC接続」と明示してください。

DC直接接続の場合：
「安定器無」、「外周(スクリュー)がマイナス(-)、中心がプラス(+)」等の明示してください。

G形、L形口金を有する、直管ランプ形状の試験品

配線方法の明示のお願い1

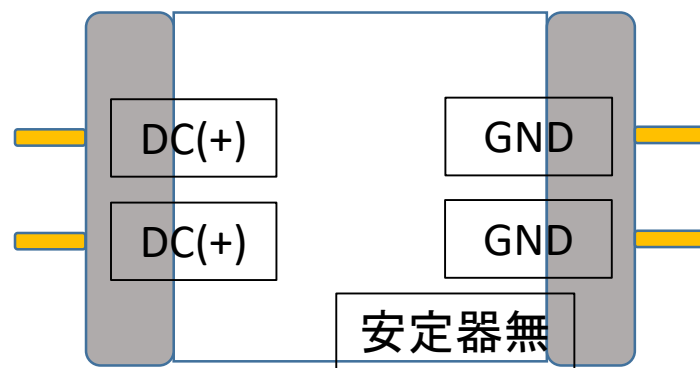
→以下の例に従い、光出力や給電の妨げにならないよう、テプラ等ですべての端子に給電条件を明示してください。
安定器の有無も明示してください。



片側接続の場合：

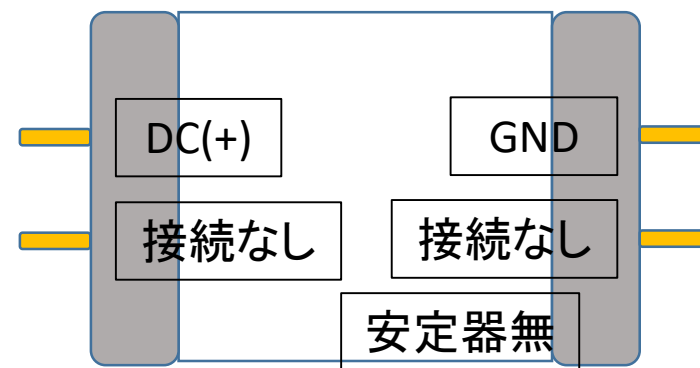
DCのプラス(+)を接続する端子にDC(+)、接地側の端子にGND等の明示をお願いします。

接続がない端子も、必ず接続なしの明示をお願い致します。



両側接続の場合1：

DCのプラス(+)を接続する端子にDC(+)、接地側の端子にGND等の明示をお願い致します。



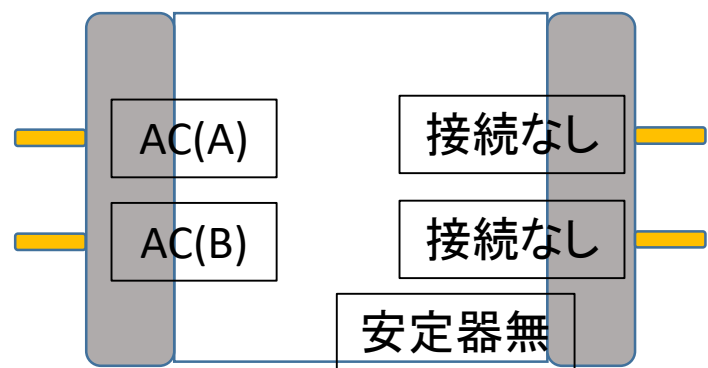
両側接続の場合2：

接続がない場合でも、接続なしの明示をお願い致します。

G形、L形口金を有する、直管ランプ形状の試験品

配線方法の明示のお願い2

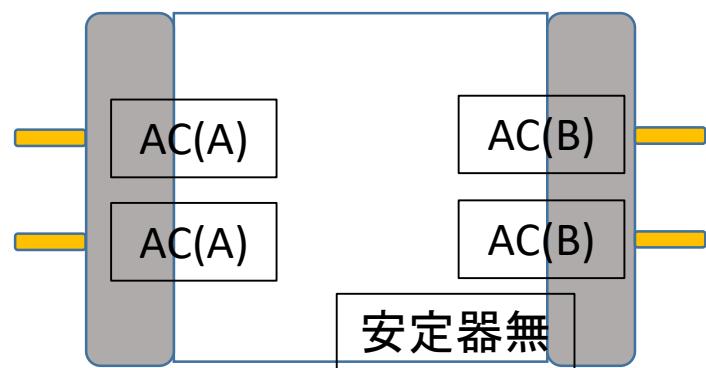
→以下の例に従い、光出力や給電の妨げにならないよう、テプラ等ですべての端子に給電条件を明示してください。
安定器の有無も明示してください。



片側接続の場合：

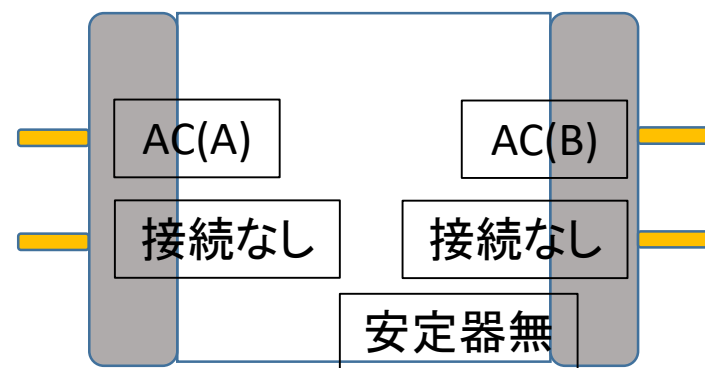
ACの一方の端子をA、もう一方をBとした場合、上記のように明示をお願いします。

接続がない端子も、必ず接続なしの明示をお願い致します。



両側接続の場合1：

ACの一方の端子をA、もう一方をBとした場合、上記のように明示をお願いします。



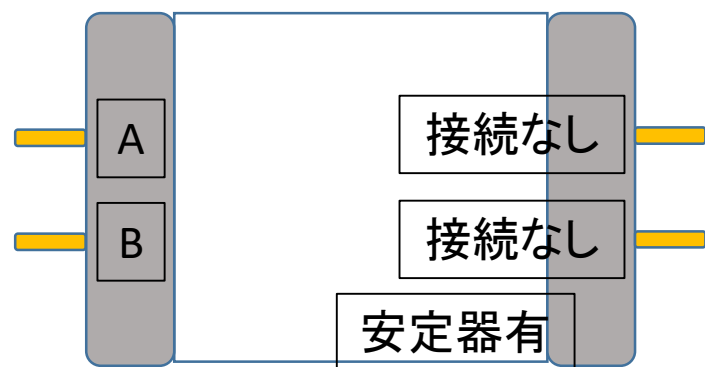
両側接続の場合2：

接続がない場合でも、接続なしの明示をお願い致します。

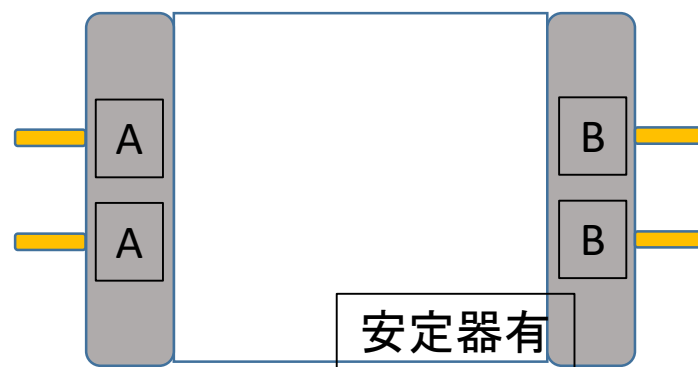
G形、L形口金を有する、直管ランプ形状の試験品

配線方法の明示のお願い3

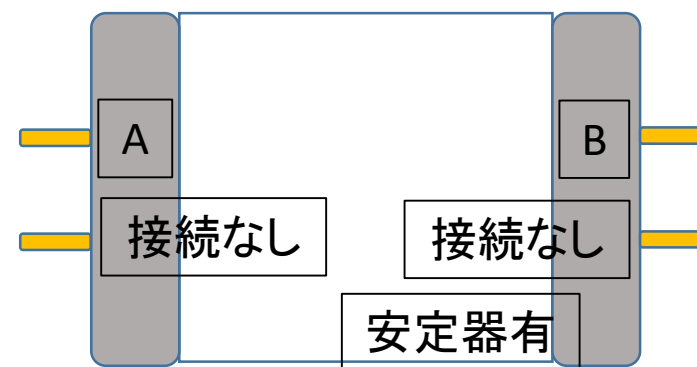
→以下の例に従い、光出力や給電の妨げにならないよう、テプラ等ですべての端子に給電条件を明示してください。
安定器の有無も明示してください。



安定器有り片側接続の場合：
安定器の二次側端子にA,B等のマーキングの上、上記のように明示をお願いします。
接続がない端子も、必ず接続なしの明示をお願いします。



安定器有り両側接続の場合1：
安定器の二次側端子にA,B等のマーキングの上、上記のように明示をお願いします。

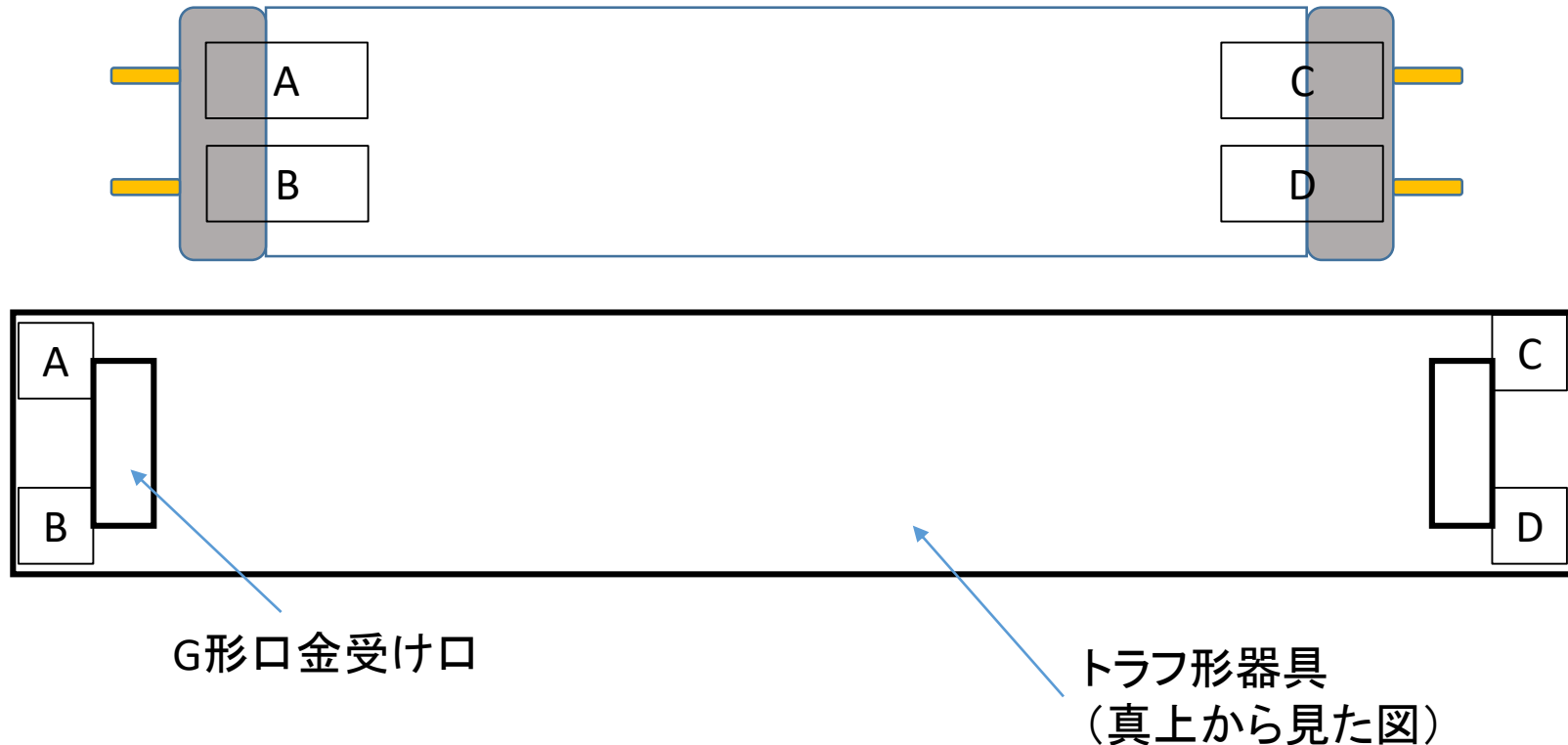


安定器有り両側接続の場合2：
接続がない場合でも、接続なしの明示をお願い致します。

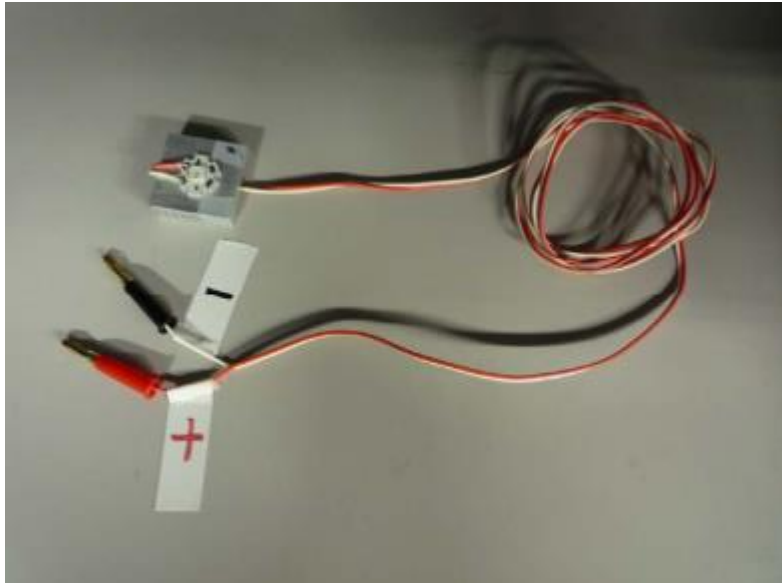
G形、L形口金を有する、直管ランプ形状の試験品

配線方法の明示のお願い4

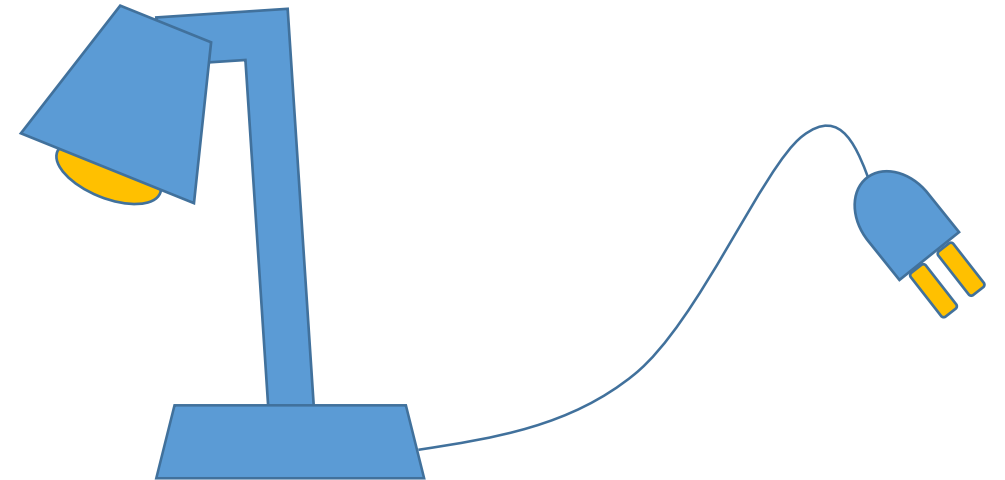
→点灯用の器具を附属頂く場合も、同様に明示してください。



口金を持たない形状の試験品 配線方法の明示のお願い



モジュール形状の場合：
2m以上の配線の上、極性などの接続を
明示ください。AC接続の場合は、AC100V15A用
平行型プラグとしてください。
安定器等がある場合、すべての接続が
完了した状態でお持ち込みください。

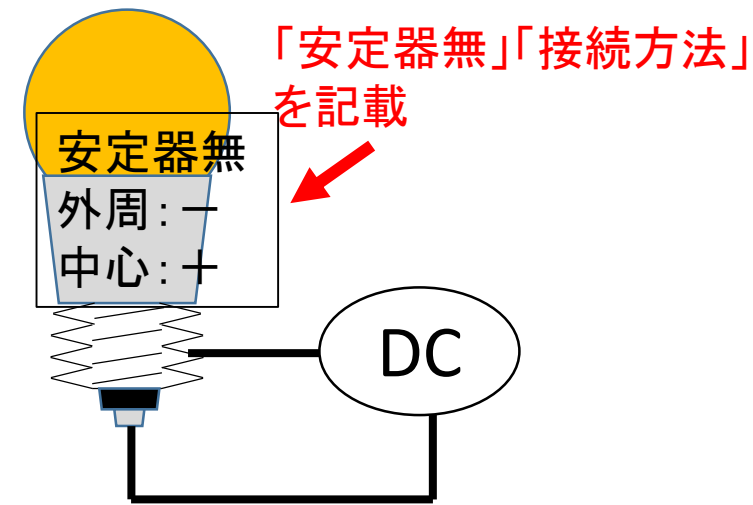
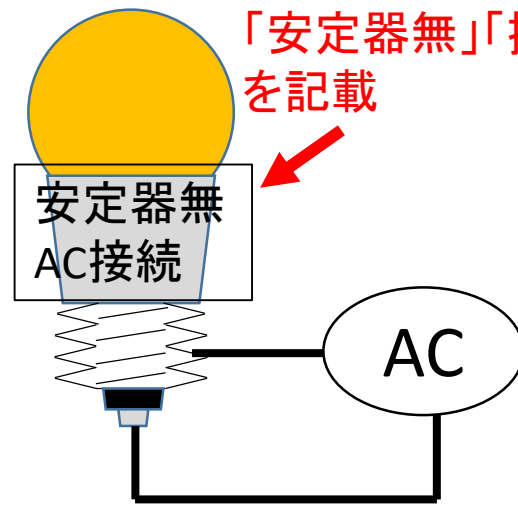
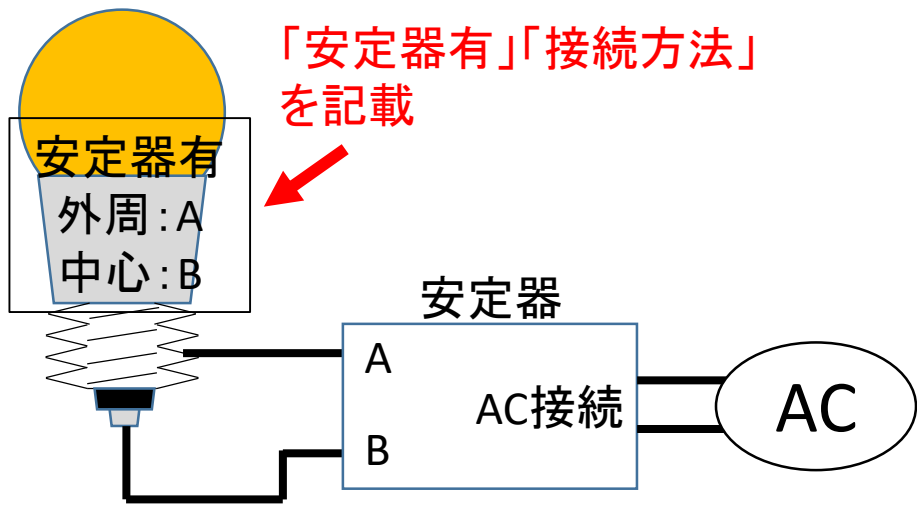


製品形状の場合：
2m以上の配線の上、極性などの接続を
明示ください。
AC接続の場合は、AC100V15A用平行型プラグ
としてください。

E形口金を有する試験品

配線方法(安定器の有無、接続方法)の明示のお願い

→以下の例に従い、光出力や給電の妨げにならないよう、試験品本体、もしくは試験品ごとの個包装箱に、テプラ等で記載してください。

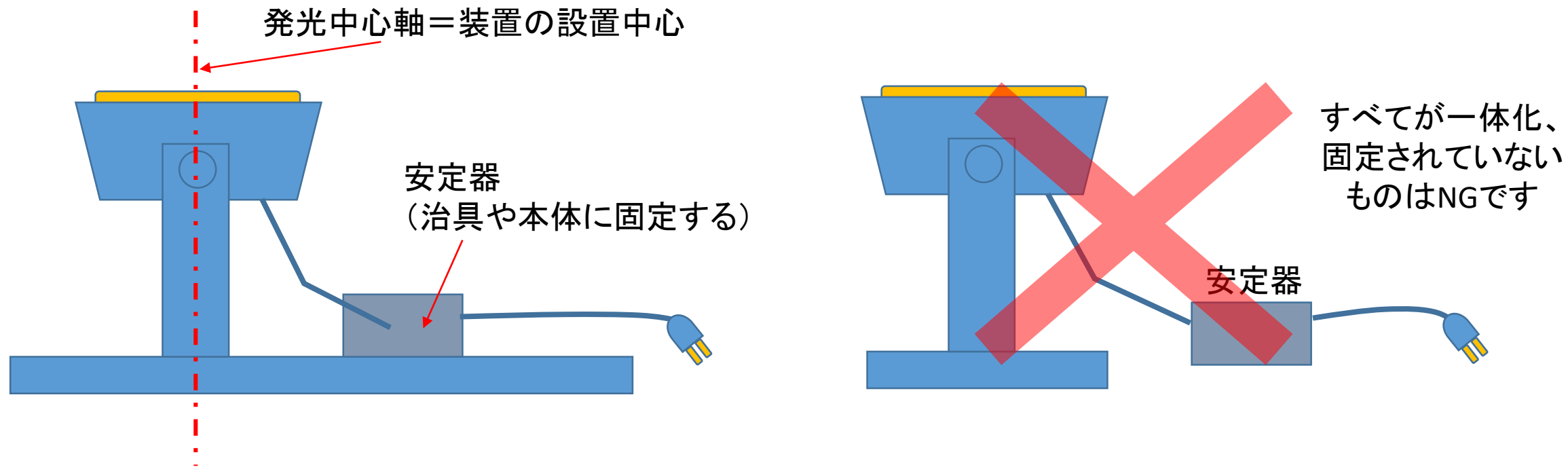


安定器別置の場合：
安定器の接続該当部にマーキングの上、
「安定器有」、「外周(スクリュー)にA、中心がB」
等と明示してください。AC接続側はAC100V15A
用平行型プラグとしてください。

AC直接接続の場合：
「安定器無、AC接続」と
明示してください。

DC直接接続の場合：
「安定器無」、
「外周(スクリュー)がマイナス(-)、
中心がプラス(+)」等の
明示してください。

E形口金を持たない試験品1

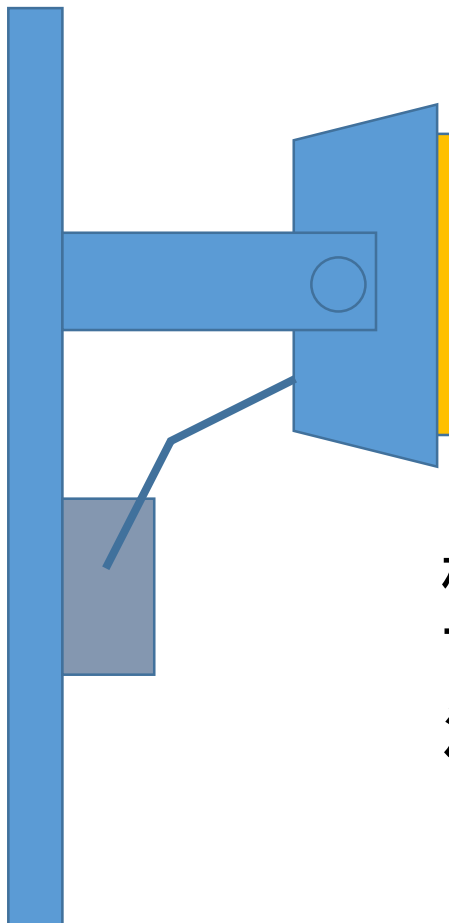


発光部、安定器、治具など、すべてが一体化および固定されている状態、かつ配線済みの状態でお持ち込みください。

測定装置設置用の治具は、発光中心軸と装置の設置中心が一致するようにしてください。異なる試験品間での安定器の取り換え接続などの作業は、安全性の観点から弊センターでは実施いたしません。

E形口金を持たない試験品2

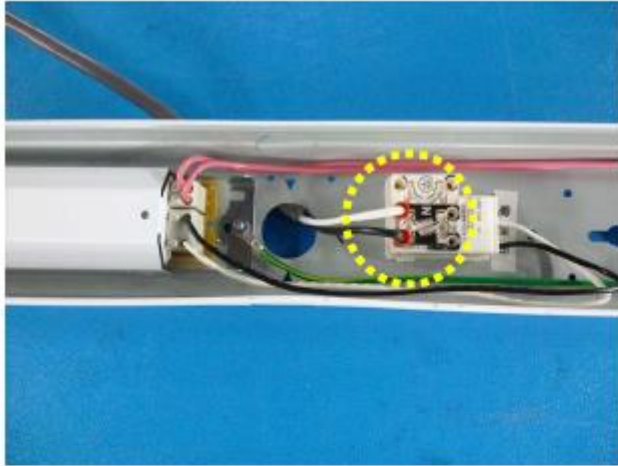
発光面を鉛直下向きに設置して測定する場合



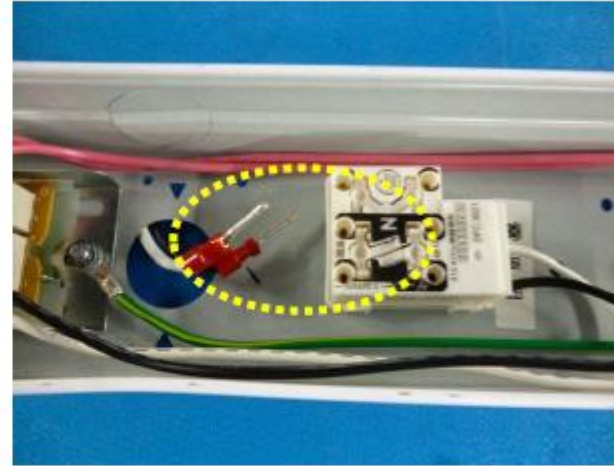
試験装置の回転に伴い、
試験品が一時的に横向きになります。
横向きに保持してみた時、十分な強度を
保有しているか、事前にご確認ください。

横向きにした時に十分な強度があるか、
可動部が動かないか、
治具などの付属品が脱落しないか、ご確認ください。
(特に支柱などがある試験品の場合にご注意ください)

E形口金を持たない試験品3



○ 測定できます



× 測定できません

配線済みの状態でお持ち込み下さい。
弊センターでの配線は実施できません

E形口金を持たない試験品4

電源供給プラグの設置のお願い



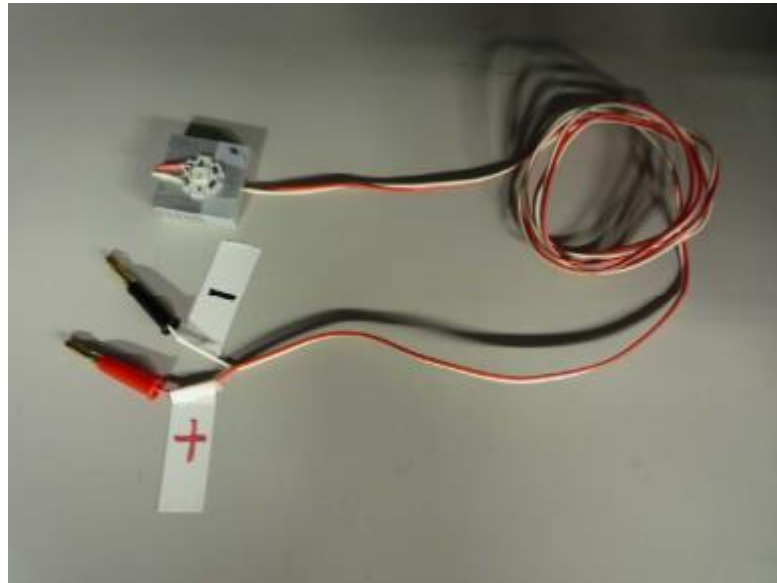
○ 測定できます
AC100V15A用平行型プラグと
してください。



× 測定できません

交流電源による給電の場合、
必ずコンセントプラグの取り付けをお願いします
弊センターではプラグの準備は致しません

E形口金を持たない試験品5



モジュール形状の場合：

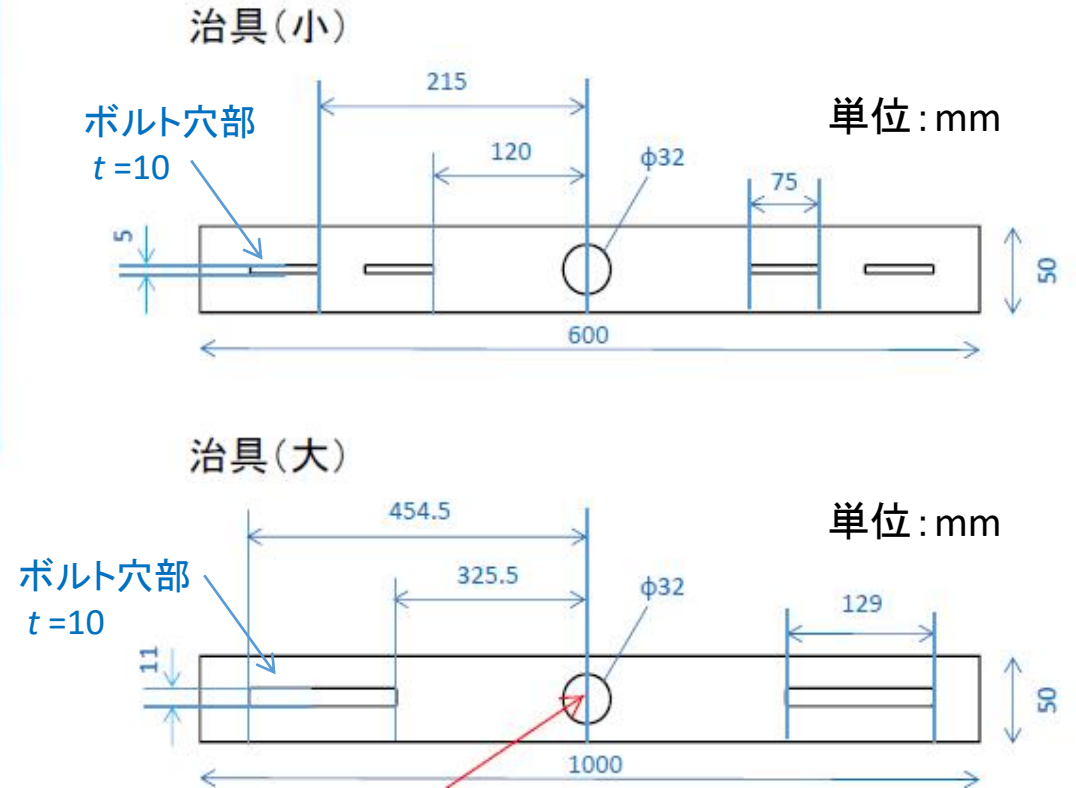
2m以上の配線の上、極性などの接続を明示ください。AC接続の場合は、オスの商用コンセント形状(16ページ参照)としてください。) 安定器等がある場合、すべての接続が完了した状態でお持ち込みください。

E形口金を持たない試験品6(直管用治具を用いる場合の取り付け方法)

弊センターの治具



治具寸法詳細

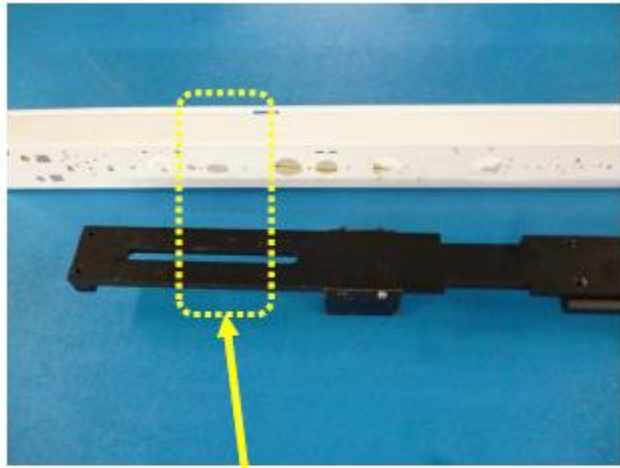


試験品の許容最大高さは、
250mmとなります。

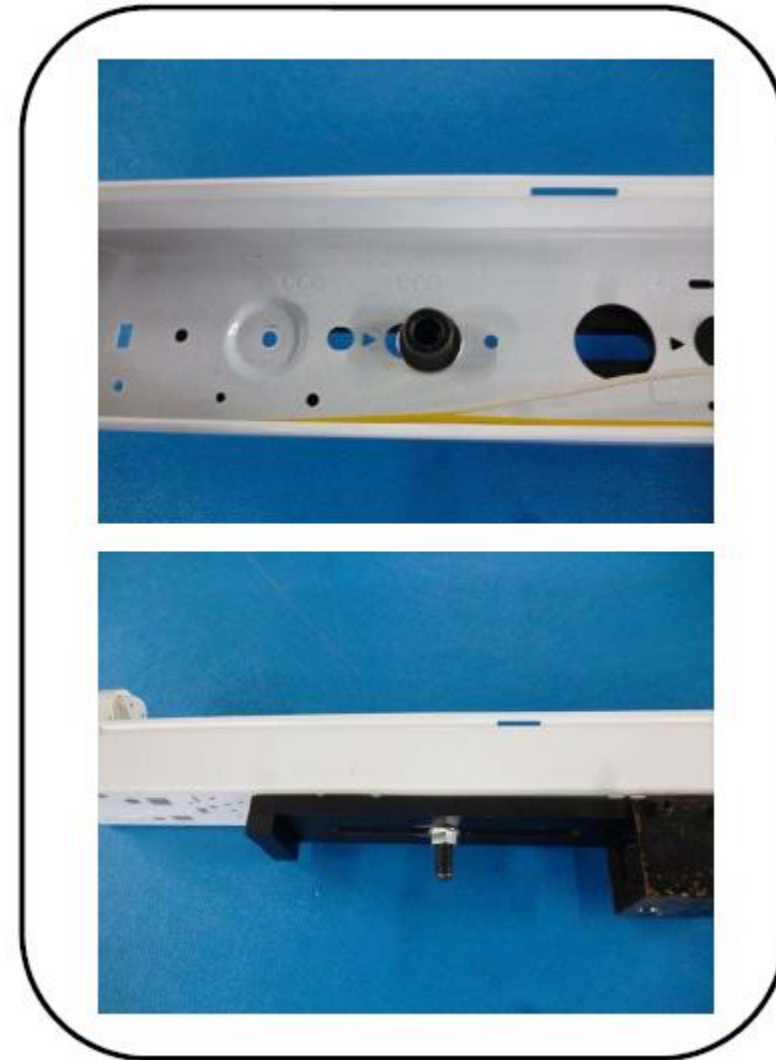
照明器具の発光中心軸と、上記治具の中心が一致する
ように穴あけ、あるいは治具等の作成をお願い致します。

E形口金を持たない試験品7(直管用治具を用いる場合の取り付け方法)

直管用治具取り付け例

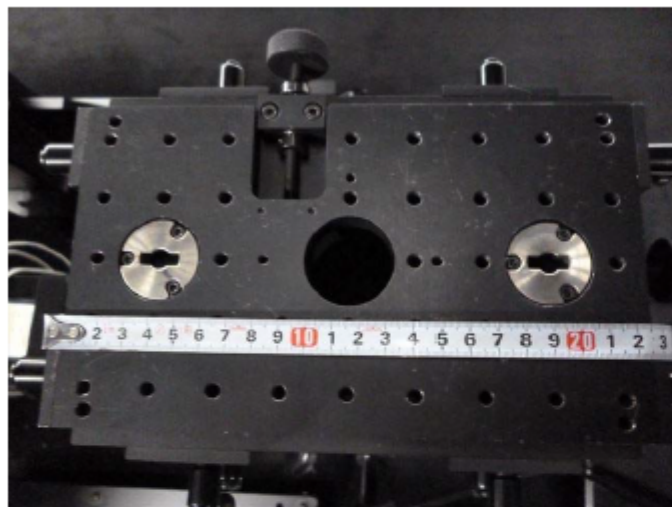


- 弊センターがボルトとナットで接続します
- ボルトを取り付けた状態でお持ち込みの場合、ナットも御支給ください
(ボルト穴部の治具板厚 $t=10\text{ mm}$)

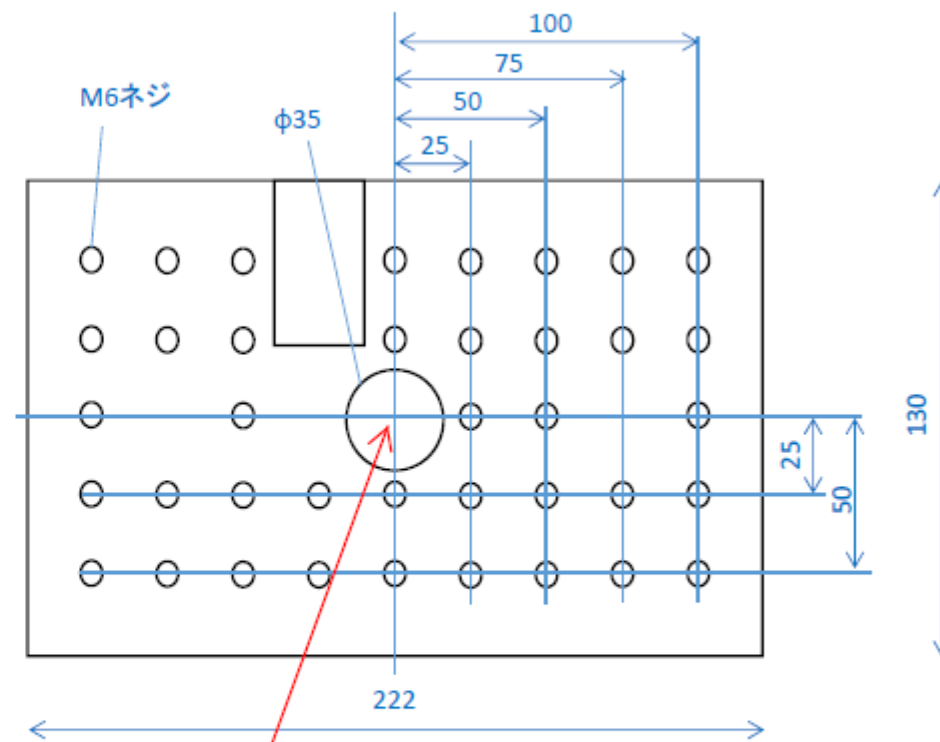


取り付け後外観イメージ

配光測定装置のベース



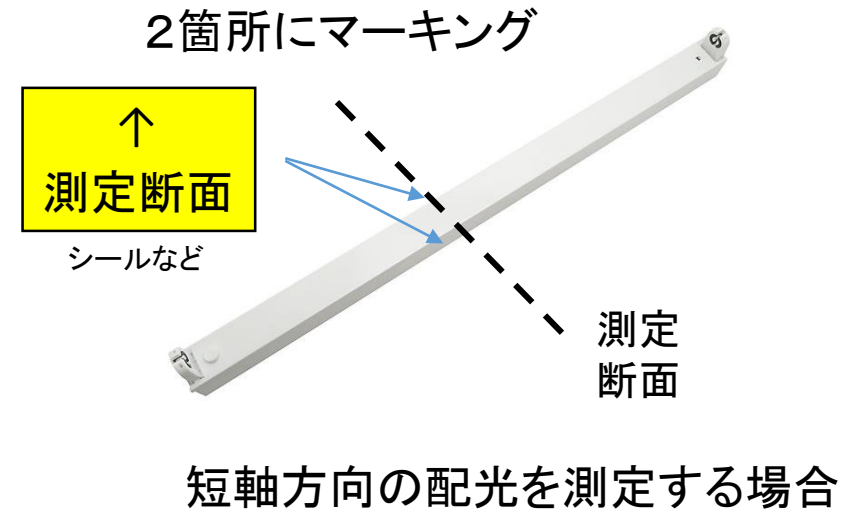
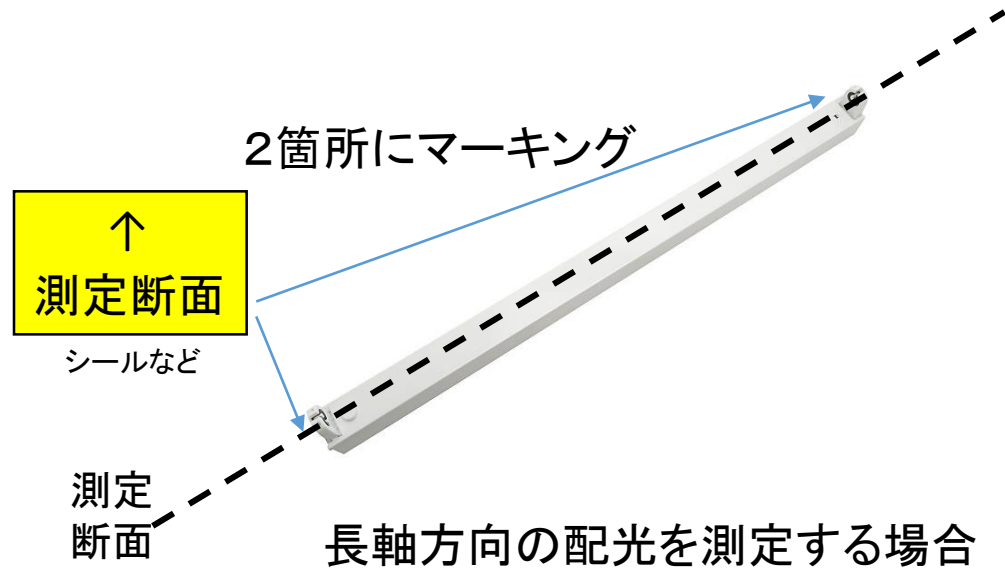
取り付けステージ寸法詳細



試験品の許容最大高さは、
350mmとなります。

照明器具の発光中心軸と、
配光測定装置のベース中心が一致
するように治具等の作成をお願い致します。

配光測定を実施する試験品で、1断面のみの測定の場合は、測定する断面がわかるように、マーキングをお願いします。



ご指定がない場合は、こちらで判断の上、測定を実施させていただきます。

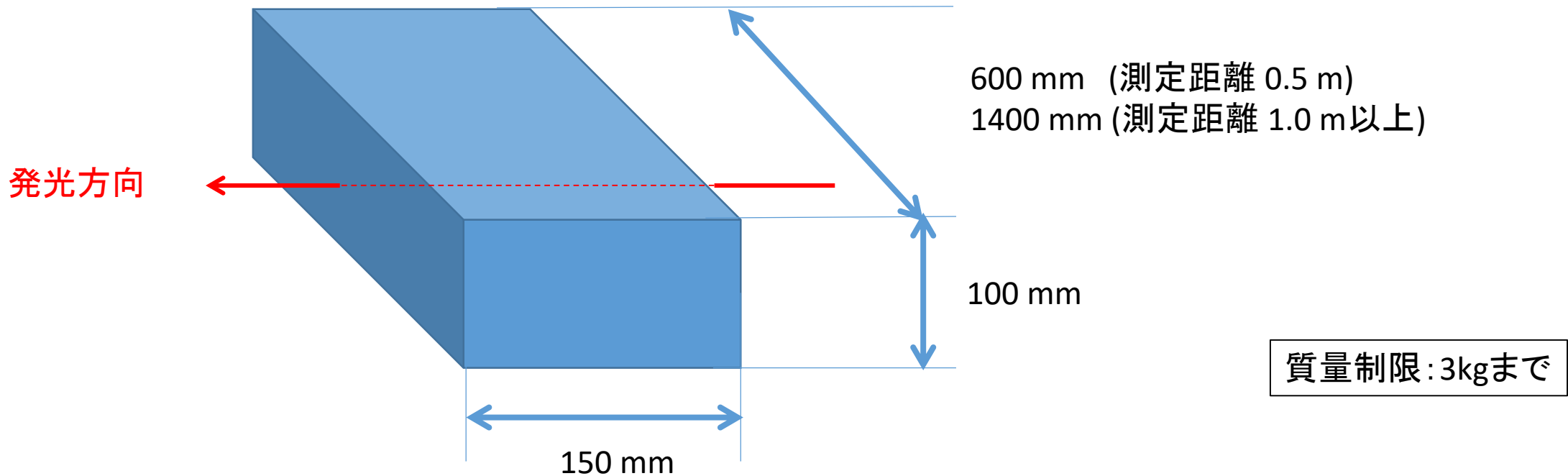
- ・ 試験品のサイズ、質量がp.5に記載の範囲内であること
- ・ すべて配線済みの状態であること
- ・ 工具等による組み立ての必要が無いこと

なお、試験品の取り付け方法に関する制限はございません

※一個の試験品に対して複数の試験項目をご依頼の場合は、当該試験における準備方法で試験品をご準備ください。

・ 試験品のサイズ・質量

下記の青い四角柱に収まるような形で試験品をご準備ください。
サイズ、質量の制限値は、治具、安定器など全てを含んだ状態での値です。



- ・ すべて配線済みの状態であること
- ・ 工具等による組み立ての必要が無いこと